

鳥雲に

新野の  
祐子

ブリュールゲル展見て来て名残雪眩し

雪虫や苦行のごとく尾根登る

足音の今も聞こえて土筆伸ぶ

春愁が天麩羅油はねさせる

目をよけて襲う油か牛虻か

さまよえる核廃棄物アースデー

馬鈴薯植う猫脱糞の沃土かな

若き日の百冊灰に鳥雲に

霾ばいてん天や特定技能とうペテン

遊覧の親不孝号木の芽晴